

2021（令和3）年度

三草山ゼフィルスの森 保全事業計画



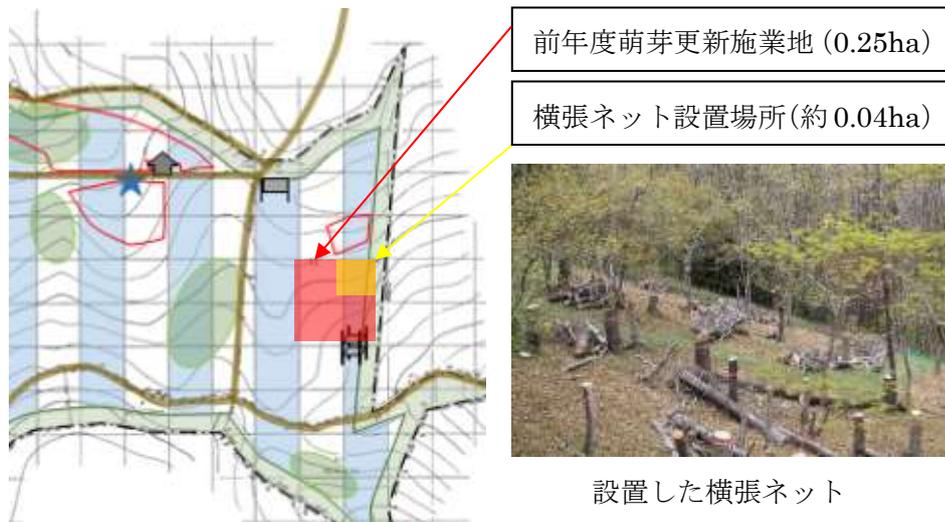
# 2021(令和3)年度 三草山ゼフィルスの森 保全事業計画

今年度も、ゼフィルス類やヒョウモンチョウ類などのチョウ類を生物指標として、生物多様性豊かな里山林の順応的植生管理を行う。

## 1 更新・管理

### (1) 防鹿柵の設置 (再開)

前年度に萌芽更新施業を行った場所のうち、横張りネットを設置していないエリアに垂直張りの防鹿柵を設置する。



### (2) ゼフィルスの食草となる植物などの育成 (継続・一部新規)

これまでは、既存の防鹿柵2及び3エリア内のイボタノキやナラ類について、坪刈りのみで管理してきたが、ネザサの勢いが強く、生育はしているものの成長がよくなかったため、マルチングボードでネザサを抑えながら育成する。またササユリやヤマツツジなど以前三草山で多く見られた植物について、実験的にマルチングボードを活用した育成を行う。

また、前年度に横張りネットを設置した場所においても同様にマルチングボードを活用した育成を行う。

### (3) ネザサの管理 (継続・一部新規)

#### ①防火帯の刈払い(2.35ha)

林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策事業を利用し実施する。

#### ②防火帯以外の刈払い(1.66ha)

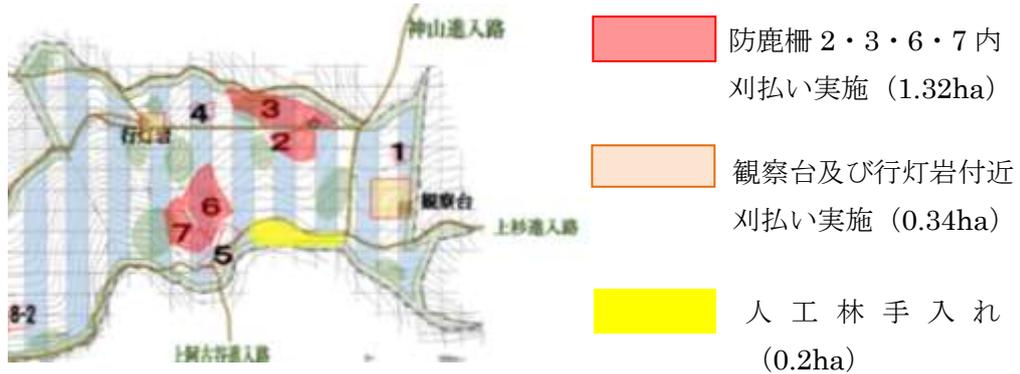
スマレ類などの林床植生の生育環境の維持・改善のため、防鹿柵2・3・6・7内で、観察会などのイベント空間確保のため観察台及び行灯岩付近で適宜行う。

### ③地掻きの試験的实施

ネザサの繁茂による自然再生の影響力を弱めるため、試験的に重機を使いネザサの地下茎を切断し、草花の生育状況を観察する。

### (4) 人工林手入れ (新規)

針葉樹林の中で多様な植物が育つ環境に遷移を促すため、試験的な間伐を行い、光環境を改善する。効果を確認するため、平成7年調査時に見られたヤブラン・ジャノヒゲ、ゼンマイやワラビなどの草花の生育状況を観察する。



## 2 調査・研究

### (1) ゼフィルス類等チョウ類の生息状況調査 (継続)

- ・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査

日本鱗翅学会近畿支部と連携し、6月中旬 (6月12日予定) に実施する。

### (2) 防鹿柵の防除効果調査 (継続)

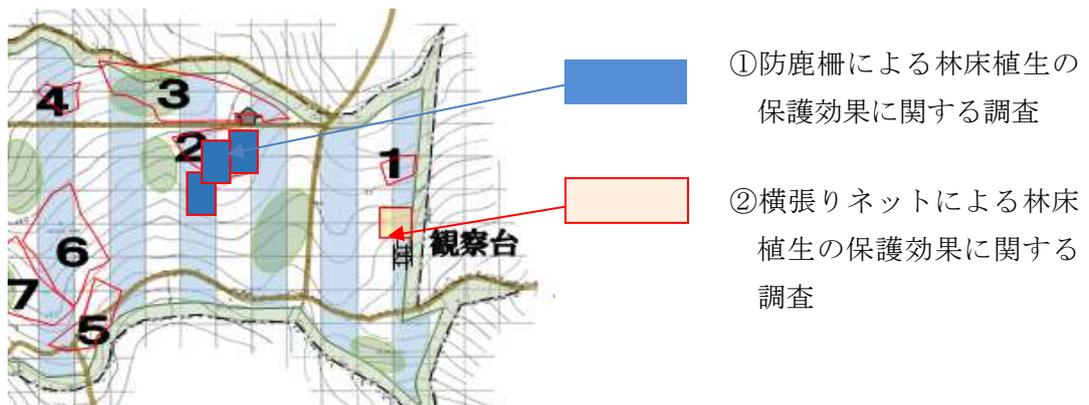
大阪府立大学藤原宣夫教授による、以下の調査を支援する。

#### ①防鹿柵による林床植生の保護効果に関する調査

2015年から実施している15m×15mの防鹿柵内2カ所、および柵外1カ所で、林床植生の保護効果を評価する。

#### ②横張りネットによる林床植生の保護効果に関する調査 (継続)

30cmの高さで防鹿柵を地面と平行に張り、林床植生の保護効果を評価する。



- (3) タガメの田づくり活動地水生昆虫調査（新規）  
大阪府立大学竹内剛客員研究員によるタガメの田づくり活動地における里山里地の一体的保全の効果を測定するための水生昆虫調査を支援する。
- (4) タガメの田づくり活動地耕作放棄地での水田再生の研究（継続）  
大阪府立大学築瀬雅則助教によるタガメの田づくり活動地における水田再生の研究を支援する。
- (5) 三草山ゼフィルスの森調査研究助成（継続）  
植生管理方法の確立に資する学術研究に対して助成する。

### 3 普及啓発

- (1) 調査結果の公表（継続）  
各種調査結果や三草山ゼフィルスの森調査研究助成制度の内容を大阪みどりのトラスト協会のHPで公表する。
- (2) 観察会などの開催（継続・一部新規）  
6月20日 ゼフィルス観察会及び森林整備体験  
2月末 シイタケの菌打ち体験
- (3) 麓の「タガメの田づくり」活動を通じた情報発信（継続）  
会員や一般府民及び学校の課外授業や企業CSR活動実施者を対象としてゼフィルスの森の山麓にある棚田において「タガメの田づくり」のイベントを開催し、持続可能な里地里山一体管理の必要性をイベント参加者や学校課外教育参加の生徒に伝える。
- (4) 地元との連携（継続）  
リーフレットや大阪みどりのトラスト協会のHPを活用し、事業地を紹介し、活動への参加を促すことにより、周辺住民、地元学校や企業などとの連携を図る。
- (5) 案内看板の設置（継続・一部新規）  
三草山山頂につながる登山道と、行灯岩につながる通路、ゼフィルスの森につながる通路が分岐する場所にある看板の老朽化が進んでいるため、新たな看板に取り換える。新たな看板は、現在地が確認できるよう地図を掲載するとともに、記念撮影を行えるフォトスポットになるようなデザインにする。



現在の看板

## 4 災害・各種被害対応

大阪府と連携し、近年の集中豪雨等により生じた災害復旧に向けた以下の取り組みを進める。

### ①山腹崩壊地

土地所有者の地元平野区及び大阪府と連携し、保安林指定の手続きに協力する。

### ②神山側進入路

ボランティア活動や学校課外教育を通じて、浮石を固定するなどし、応急処置による復旧を実施する。

### ③上杉側進入路

昨年度に実施した一部旧道再利用のための整備に引き続き、運搬車や車の通行が可能となるよう工事を実施する。

## 5 保全活動推進体制

### (1) ボランティア活動の定例開催（継続・一部新規）

保全活動を行ってきた「能勢みどりすとクラブ」に加え、今年度より森林・山村多面的機能発揮対策交付事業を実施する「能勢の里山を繋ぐ会」による定期的な里地里山の保全活動を実施する。

能勢みどりすとクラブ 定例：毎月第1水曜・第3日曜

能勢の里山を繋ぐ会 定例：毎月第1日曜

### (2) 巡回活動（継続）

公募で集まった地元住民（新規、3名）に委嘱し、巡回活動を実施する。今年度に限り前任の城好会によるサポートを受ける。

## 6 地上権契約更新（継続）

2021（令和3）年度末の地上権設定契約の更新に向けた取り組みを行う。

## 7 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催（継続）

2回程度の検討会議の開催を予定する。

また、有識者や地元関係者を交え、意見交換を行う勉強会を4回程度開催する。

以上